



平成27年4月21日(火)
利根川水系渇水対策連絡協議会
(事務局:関東地方整備局)

記者発表資料

平成27年度
第1回利根川水系渇水対策連絡協議会
幹事会(春季定例会)の開催結果について

1. 開催状況

日時:平成27年4月20日(月) 14:00~

場所:さいたま新都心合同庁舎2号館
国土交通省関東地方整備局 14階 災害対策本部室

協議会構成:国土交通省関東地方整備局、経済産業省関東経済産業局、
農林水産省関東農政局、東京都、千葉県、埼玉県、茨城県、
群馬県、栃木県、独立行政法人水資源機構

協議会の目的:利根川水系の渇水時における円滑な水需給の調整を図る。

2. 開催結果

別紙のとおり

発表記者クラブ

埼玉県政記者クラブ、竹芝記者クラブ、神奈川建設記者会、
東京都庁記者クラブ、千葉県政記者会、茨城県政記者クラブ、
栃木県政記者クラブ、刀水クラブ

問い合わせ先

国土交通省 関東地方整備局	河川部水政課 なかむら かずお 水政調整官 中村 一夫 (内線) 3515 水政課長 小林 武男 (内線) 3551 建設専門官 安藤 実 (内線) 3557	住所 〒330-9724 埼玉県さいたま市中央区新都心2-1 さいたま新都心合同庁舎2号館 電話 (代表) 048-601-3151
------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------

現状と今後の対応

(1) 現状

- ・降水量（栗橋地点上流域平均）の状況
 - 1月の累加降水量は57mm（平均値に対する割合133%）
 - 2月の累加降水量は36mm（平均値に対する割合75%）
 - 3月の累加降水量は63mm（平均値に対する割合94%）
 - 4月16日までの累加降水量は76mm（4月の累加降水量の平均値は90mm）
- ・積雪の状況（4月17日9時現在）
 - 藤原ダム地点 積雪深13cm（平均値に対する割合433%）
 - 尾瀬沼地点 積雪深203cm（平均値に対する割合107%）
- ・利根川上流8ダムの貯水状況（4月17日0時現在）
 - 貯水量は平年を上回る貯水量となっています。
 - 貯水量4億0,440万m³、貯水率88%、平均値に対する割合122%

(2) 今後の見通し

- ・気象庁発表の気象情報（3ヶ月予報）によると、4月、5月の降水量は「平年並」、6月は「少ない」または「平年並」となっています。
- ・利根川上流5ダム（矢木沢、奈良俣、藤原、相俣、菌原）は、毎年4月から5月にかけて、融雪水により貯水量を回復する時期となっており、例年では4月の中旬から5月にほぼ満水となります。現在、融雪水の貯留に努めており、平年並みのダム流入量であれば、5ダムにおいては満水まで回復が考えられます。融雪水の少ない下久保ダムにおいては、下流の河川の必要量を確保しつつ、極力貯留に努めます。
しかし、今後は水需要の多い時期になることから、降雨状況によっては、利根川上流8ダムの貯水量が不足することも考えられます。
- ・鬼怒川上流4ダムの貯水量は平年を上回る貯水量となっており、今後下流の農業用水等水需要に対して必要な水量を確保するためダムからの補給を行っていきませんが、降雨状況によっては、貯水量が不足することも考えられます。

(3) 今後の対応

- ・利根川上流8ダム、鬼怒川上流4ダム等は、本年の利根川上流域の融雪状況や降雨、農業用水や都市用水の水利用を十分考慮して、既存施設等を広域的かつ効果的に活用し、きめ細かい運用を行っていきます。
また、上流ダム群の貯水量の状況や積雪及び降水量の状況等の情報提供を引き続き、積極的に行っていきます。
- ・利根川水系渇水対策連絡協議会としては、必要に応じ幅広い広報活動を通じて節水の協力を要請していくとともに、取水制限等の調整が必要になった場合には、機動的な対応を行っていきます。

利根川上流ダム群等の現状と今後の見通しについて



奈良俣ダム（平成27年4月16日撮影）

平成27年4月20日

関東地方整備局

1. 利根川上流8ダム等の現状

1) 利根川

(1) 栗橋地点上流域平均降水量の状況（平成27年4月16日までの降水量）

平成26年4月以降の栗橋地点上流域平均降水量は、4月、5月、7月及び9月が平均値を下回りました。

平成27年に入り、1月は平均値を上回りましたが、2月、3月は平均値を下回りました。

4月の降水量は、16日までの累加で76mmとなっています。（4月の降水量の平均値は90mm）

(図-1、表-1)

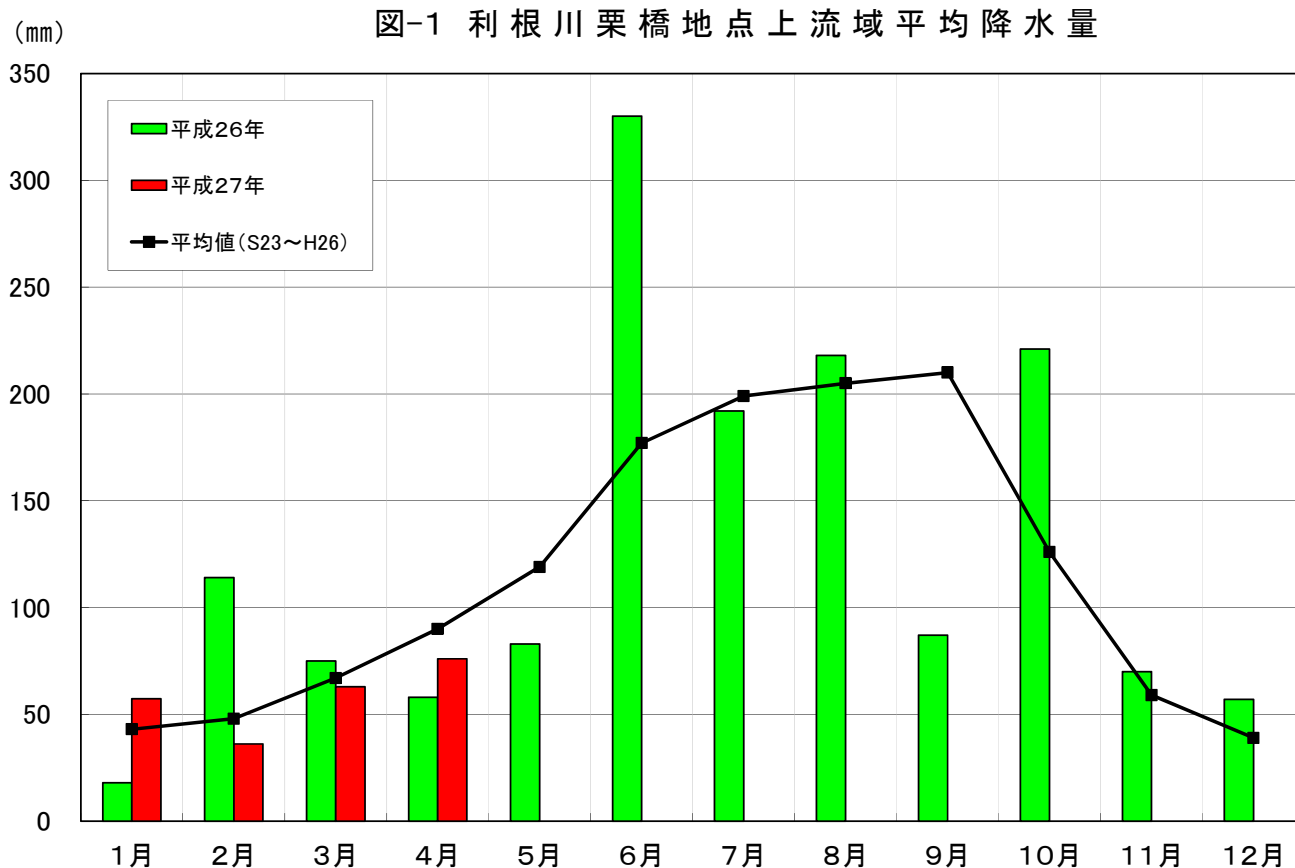


表-1 利根川栗橋地点上流域平均降水量（平成27年4月16日まで）

単位 (mm)	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	摘要
昭和62年	22	33	62	14	89	91	204	186	252	73	39	26	1,091	利根川夏渇水
平成2年	31	66	71	119	58	74	118	193	326	143	183	31	1,413	"
平成6年	27	50	52	23	139	107	104	153	346	87	26	29	1,143	"
平成8年	26	35	68	47	98	117	155	78	217	80	55	23	999	利根川冬夏渇水
平成9年	33	33	59	74	179	173	170	167	206	14	94	20	1,222	利根川冬渇水
平成13年	79	35	75	23	136	176	116	366	321	173	46	23	1,569	利根川夏渇水
平成24年	43	57	115	98	206	192	190	87	221	85	55	47	1,395	"
平成25年	43	38	20	134	46	168	152	153	244	224	24	48	1,294	"
平成26年	18	114	75	58	83	330	192	218	87	221	70	57	1,523	
平均値 (S23~H26)	43	48	67	90	119	177	199	205	210	126	59	39	1,383	
平成27年	57	36	63	76									232	
平均値に対する割合 (%)	133	75	94	84									17	

※ 利根川取水制限実施月（一時緩和含む）

※ 栗橋上流域面積 8,588km²

(2) 藤原ダム地点及び尾瀬沼地点の積雪状況

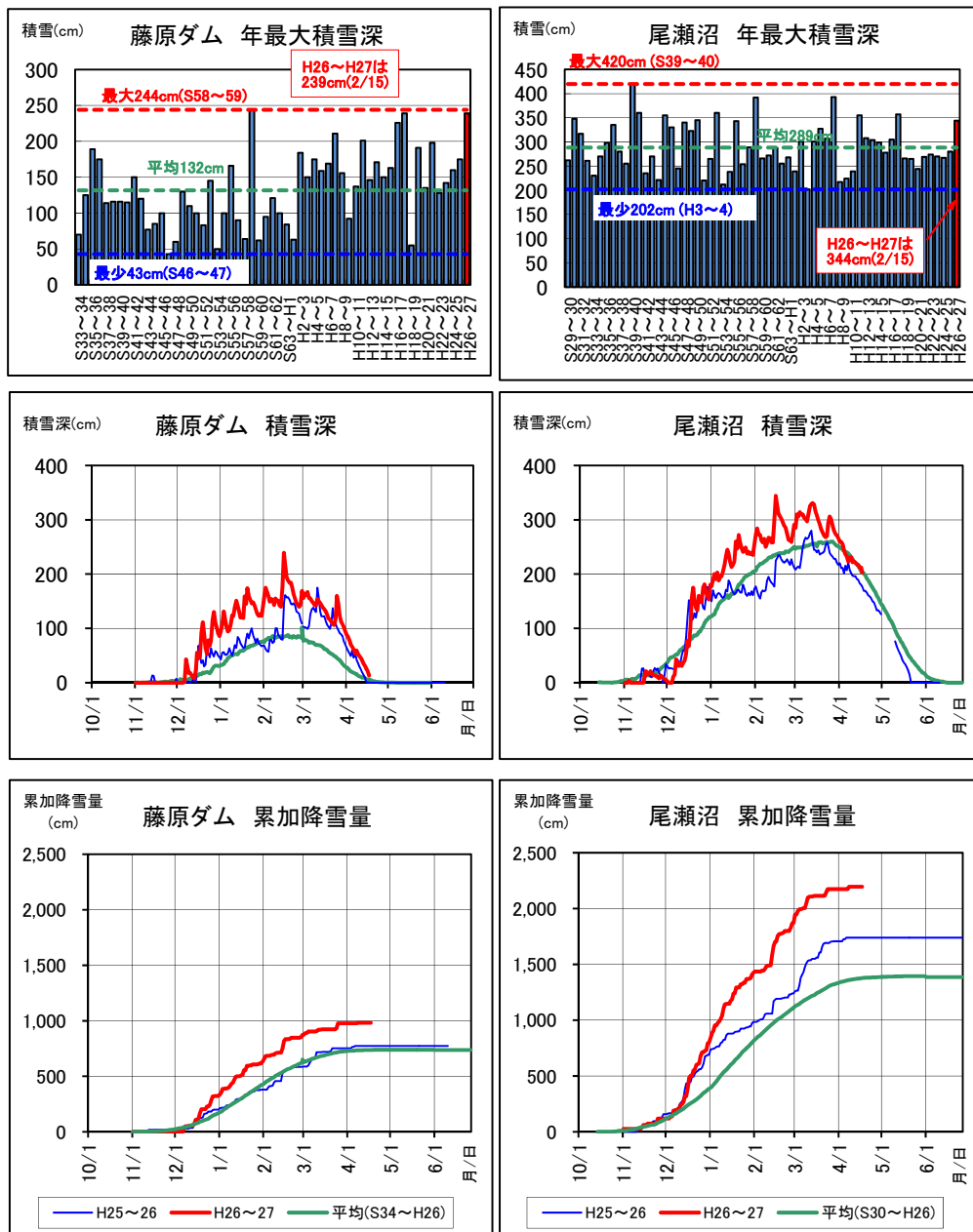
藤原ダム地点は12月上旬から平均値を上回る積雪深となりました。その後も平均値を上回る積雪深となっています。また、尾瀬沼地点は、12月中旬に平均値を上回る積雪深となり、その後も平均値を上回る積雪深となっています。

今期の最大積雪深は藤原ダム地点で239cm(2月15日)、尾瀬沼地点で344cm(2月15日)となっています。平成27年4月17日9時現在、藤原ダム地点の積雪深は13cm(平均値に対する割合は433%)、尾瀬沼地点の積雪深は、203cm(平均値に対する割合は107%)となっています。(表-2、図-2参照)

表-2 藤原ダム地点及び尾瀬沼ダム地点の積雪深、累加降雪量図

観測所名	時 点	積雪深	今期最大積雪深	累加降雪量
藤原ダム (標高667m)	平成27年4月17日9時現在	13cm	239cm(2月15日)	982cm
	S34~H26の4月第4半旬末平均値	3cm		
尾瀬沼 (標高1666m)	平成27年4月17日9時現在	203cm	344cm(2月15日)	2,197cm
	S30~H26の4月第4半旬末平均値	189cm		

図-2 藤原ダム地点及び尾瀬沼地点の積雪深、累加降雪量図



平成27年4月17日9時現在 ※過去のデータは半旬末の値

(3) 各観測所の積雪深の状況

(図-3、図-4参照)

図-3 積雪観測所位置図

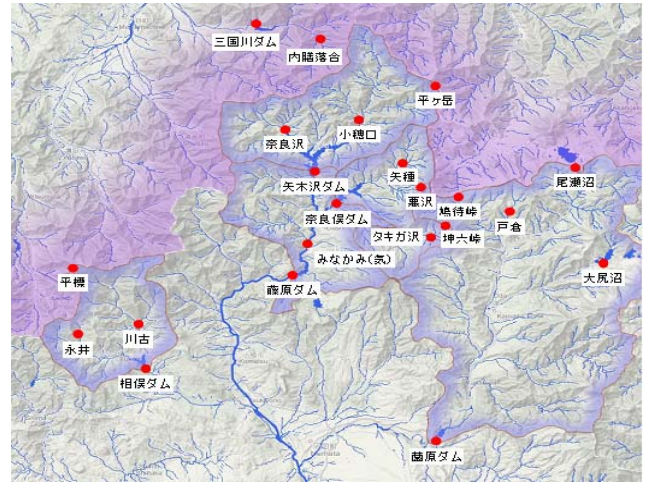


図-4 各観測所の積雪深状況



(4) 利根川上流8ダムの貯水状況等（平成27年4月17日0時現在）

平成26年の利根川上流8ダムは、6月上旬以降、降雨が少ない状況が続き、河川流量が減少した時に、水道用水、工業用水、農業用水等を確保するため、利根川上流8ダムに貯留した水を補給しました。

10月は、台風18、19号等の降雨によりダムの貯水量が回復し、12月中旬以降補給となりました。平成27年4月17日0時の貯水量は4億0,440万m³、貯水率は88%（貯水量の平均値（平成4年～平成26年）に対する割合は122%）です。

（表-3、図-5）

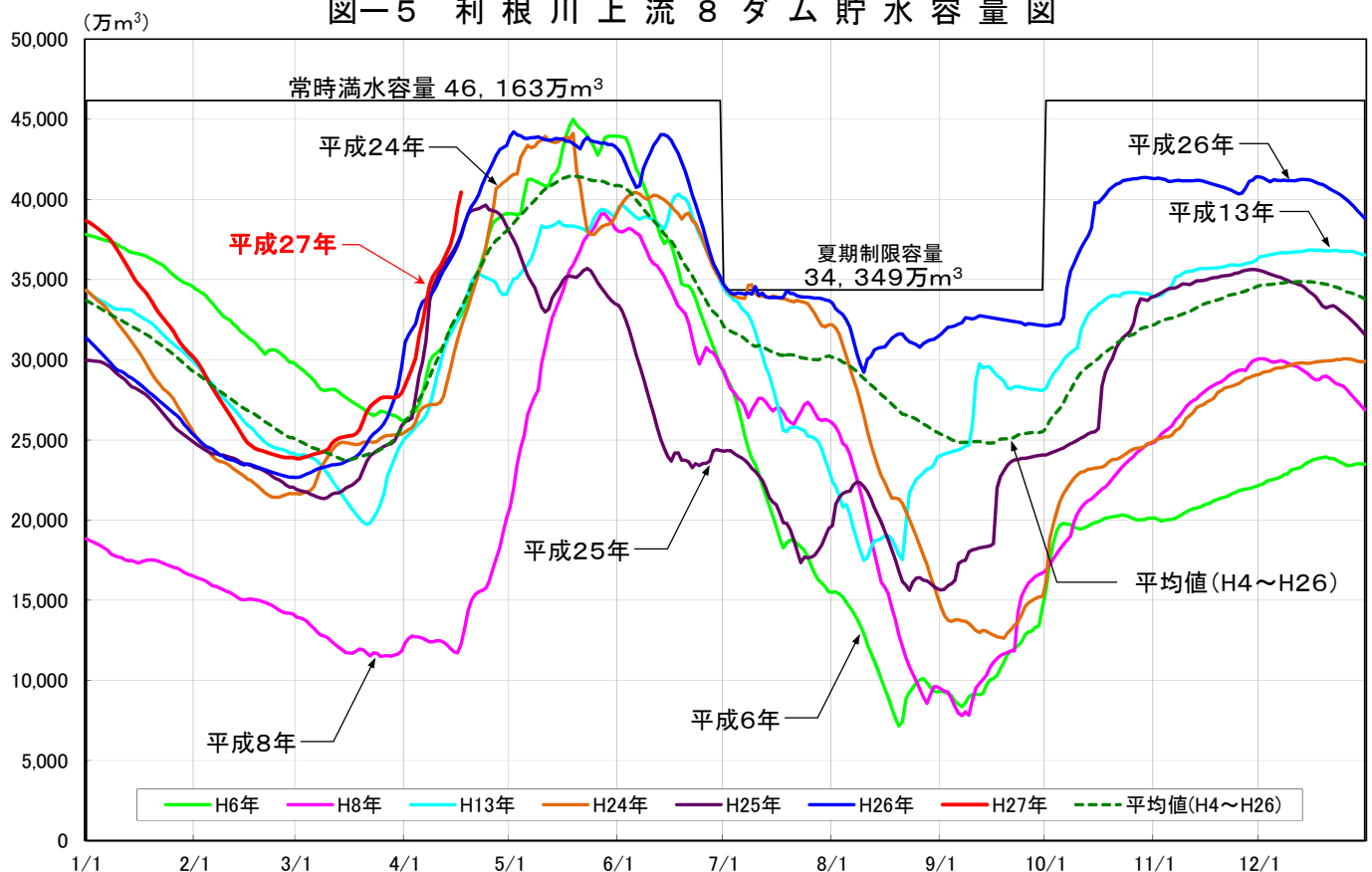
表-3 利根川上流8ダム貯水量

平成27年4月17日0時現在

ダム名	有効容量 (万m ³)	貯水量 (万m ³)	貯水率 (%)	前日補給量 (万m ³ /日)
矢木沢ダム	11,550	9,804	85	-383
奈良俣ダム	8,500	8,106	95	-170
藤原ダム	3,101	2,356	76	5
相俣ダム	2,000	1,937	97	-62
藪原ダム	1,322	1,245	94	-15
下久保ダム	12,000	10,971	91	-58
草木ダム	5,050	4,522	90	-159
渡良瀬貯水池	2,640	1,499	57	-150
8ダム合計	46,163	40,440	88	-992
8ダム合計の平均値 (平成4年～平成26年)		33,231	(平均値に対する割合 122%)	

1. 有効容量は、常時満水容量。
2. 貯水率は、常時満水容量に対する貯水量の割合。
3. 前日補給量とは、前日の貯水量と本日の貯水量の差。（値が負の場合は、放流量より流入量が多く、ダムに水を貯留している状況です。値が正の場合は、流入量より放流量が多く、ダムに貯留した水を流している状況です。）

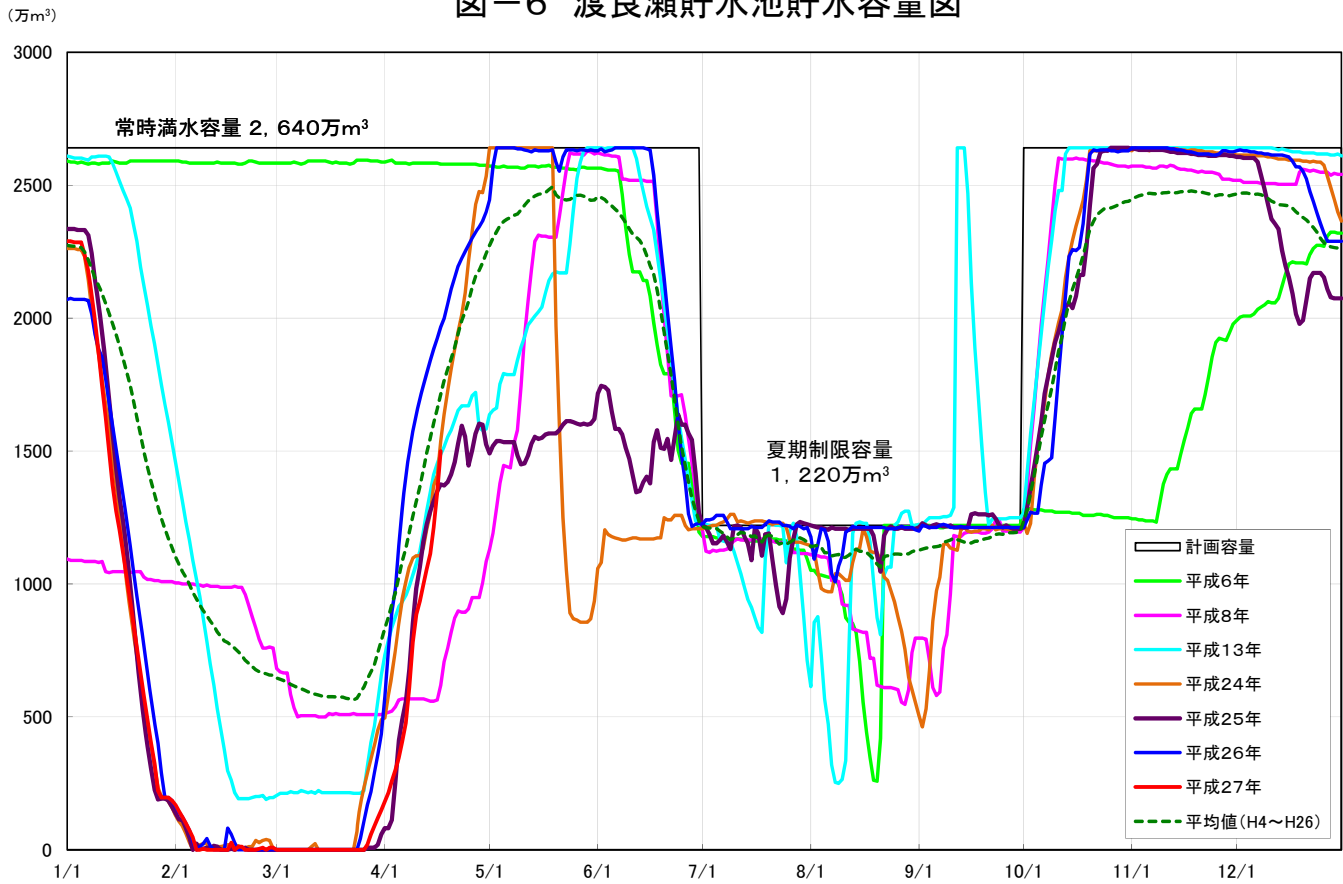
図-5 利根川上流8ダム貯水容量図



(5) 渡良瀬貯水池の現状

渡良瀬貯水池は水質改善のため、平成9年から利根川の流況を見ながら「干し上げ」を行っています。今年も1月5日より補給も兼ねつつ水位を下げ、干し上げを実施しました。その後3月26日より貯留し、平成27年4月17日0時現在の貯水量は、1,499万m³、貯水率は57%（貯水量の平均値（平成4年～平成26年）に対する割合は88%）です。（図-6）

図-6 渡良瀬貯水池貯水容量図



2) 鬼怒川

(1) 佐貫地点上流域平均降水量の状況（平成27年4月16日までの降水量）

平成26年4月以降の佐貫地点上流域平均降水量は、4月、5月、7月、9月及び11月が平均値を下回りました。

平成27年に入り、1月、2月、3月は平均値を上回りました。

4月の降水量は、16日までの累加で58mmとなっています。（4月の降水量の平均値は104mm）

（図-7、表-4）

図-7 鬼怒川佐貫地点上流域平均降水量

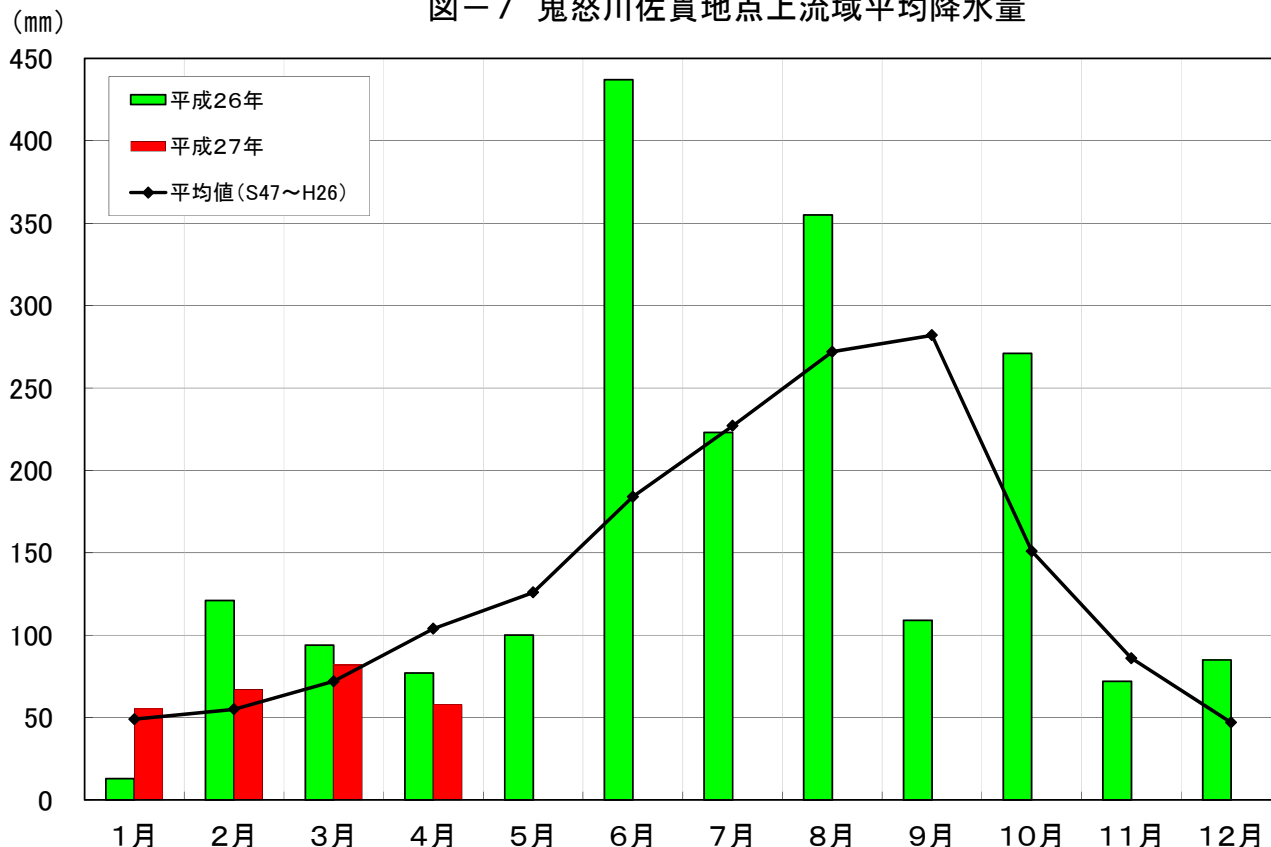


表-4 鬼怒川佐貫地点上流域平均降水量（平成27年4月16日まで）

単位:(mm)	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	摘要
昭和62年	21	34	127	21	121	134	186	156	321	121	38	21	1,301	
平成2年	35	89	79	164	53	111	109	338	394	195	220	66	1,853	
平成6年	15	118	77	21	126	103	159	218	551	122	25	48	1,583	
平成8年	46	69	79	67	113	103	176	109	211	66	65	36	1,140	
平成9年	46	55	74	52	145	272	234	114	274	17	215	27	1,525	
平成13年	56	13	34	13	116	185	147	484	610	225	62	35	1,980	
平成24年	40	47	101	111	314	276	227	109	354	113	71	75	1,838	
平成25年	45	35	14	147	46	171	177	172	411	301	29	66	1,614	
平成26年	13	121	94	77	100	437	223	355	109	271	72	85	1,957	
平均値 (S47~H26)	49	55	72	104	126	184	227	272	282	151	86	47	1,654	
平成27年	55	67	82	58									262	
平均値に対する割合(%)	113	122	114	56									16	

※. 鬼怒川佐貫上流面積 940km²

(2) 鬼怒川上流4ダムの貯水状況等 (平成27年4月17日0時現在)

平成26年の鬼怒川上流4ダムは、4月中旬以降、降雨が少ない状況が続き、河川流量が減少した時に、水道用水、工業用水、農業用水等を補給するため、鬼怒川上流4ダムに貯留した水を補給しました。

10月は、台風18、19号等の降雨によりダムの貯水量が回復しました。

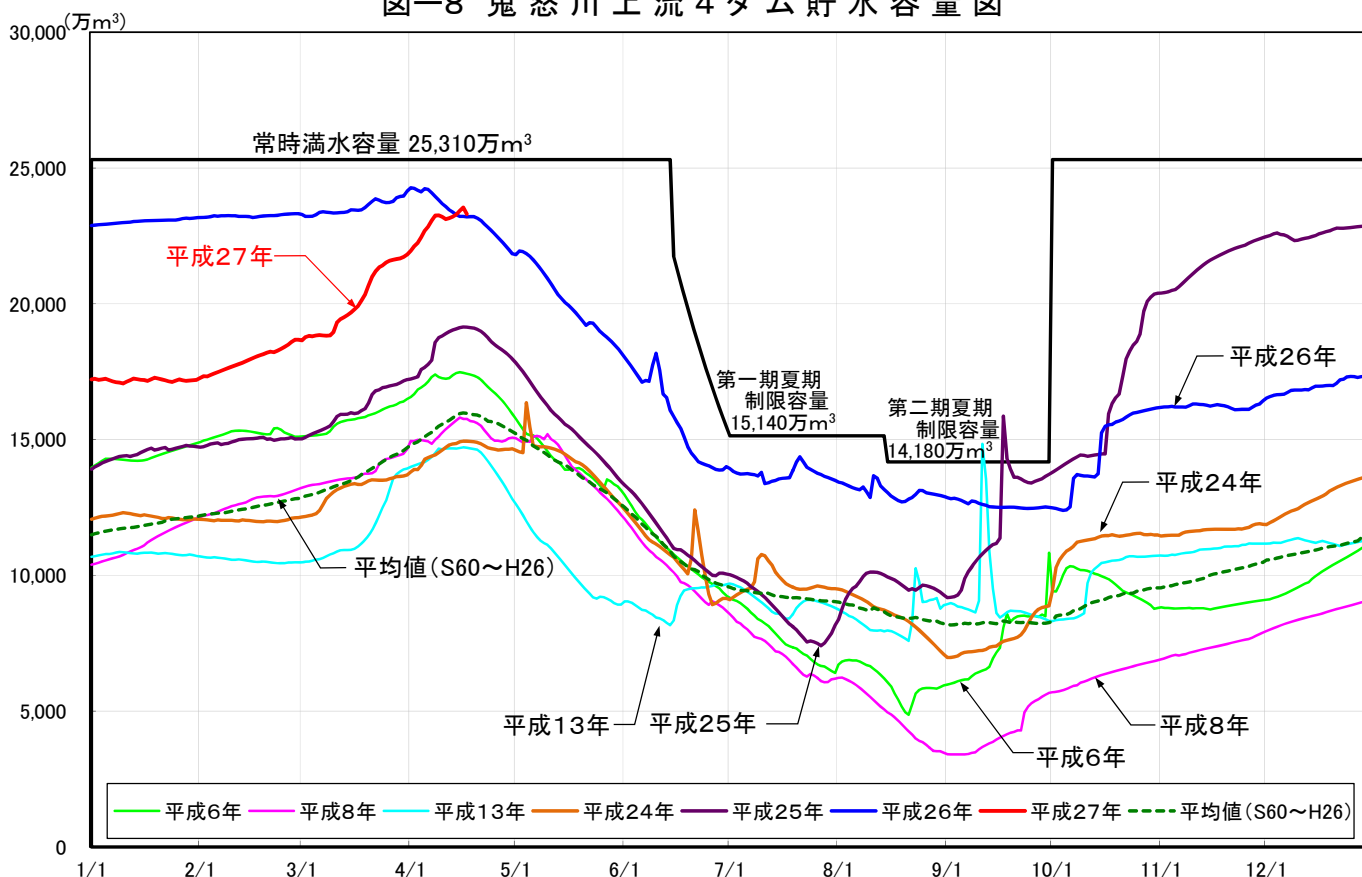
平成27年4月17日0時の貯水量は2億3,301万 m³、貯水率92% (貯水量の平均値 (昭和60年～平成26年) に対する割合は146%) です。(表-5、図-8)

表-5 鬼怒川上流4ダム貯水量

平成27年4月17日0時現在				
ダム名	有効容量 (万m ³)	貯水量 (万m ³)	貯水率 (%)	前日補給量 (万m ³ /日)
五十里ダム	3,200	2,617	82	94
川俣ダム	7,310	6,987	96	44
川治ダム	7,600	6,759	89	-43
湯西川ダム	7,200	6,938	96	151
4ダム合計	25,310	23,301	92	246
3ダム (五十里、川俣、川治) 合計の平均値 (昭和60年～平成26年)		15,969	(平均値に対する割合 146%)	

1. 有効容量は、常時満水容量。
2. 貯水率は、常時満水容量に対する貯水量の割合。
3. 前日補給量とは、前日の貯水量と本日の貯水量の差。(値が負の場合は、放流量より流入量が多く、ダムに水を貯留している状況です。値が正の場合は、流入量より放流量が多く、ダムに貯留した水を流している状況です。)
4. 平均値に対する割合は、五十里ダム、川俣ダム、川治ダムの3ダムの平均貯水量に対する割合であり、参考値。

図-8 鬼怒川上流4ダム貯水容量図



※S60～H26平均は、五十里ダム、川俣ダム、川治ダムの3ダムの合計である。

3) 荒川水系

(1) 秋ヶ瀬地点上流平均降水量の状況（平成27年4月16日までの降水量）

平成26年4月以降の秋ヶ瀬地点上流域平均降水量は、4月、5月、7月、8月、9月及び12月が平均値を下回りました。

平成27年に入り、1月は平均値を上回り、2月、3月は平均値を下回りました。

4月の降水量は、16日までの累加で79mmとなっています。（4月の降水量の平均値は97mm）

(図-9、表-6)

図-9 荒川秋ヶ瀬地点上流域平均降水量

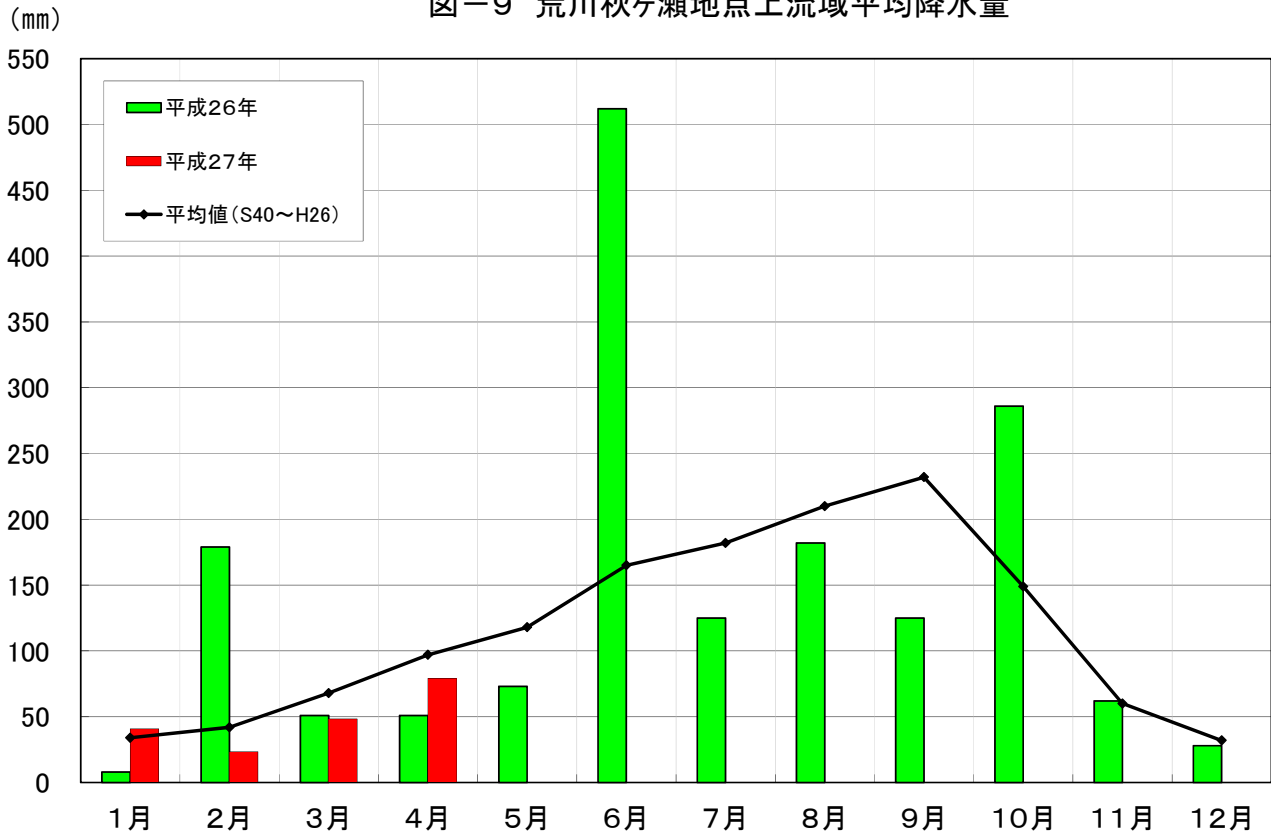


表-6 荒川秋ヶ瀬地点上流域平均降水量（平成27年4月16日まで）

単位(mm)	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	摘要
昭和62年	16	29	66	8	66	88	146	103	280	91	46	36	975	利根川・荒川夏湯水
平成2年	22	67	83	138	48	55	77	228	473	134	301	31	1,657	利根川・荒川夏湯水
平成4年	26	15	118	136	117	250	87	177	63	285	52	29	1,355	荒川夏湯水
平成5年	82	34	37	44	76	186	275	276	204	112	113	25	1,464	荒川夏湯水
平成6年	42	44	64	25	111	103	152	142	344	119	21	24	1,191	利根川・荒川夏湯水
平成7年	24	25	111	44	129	239	177	109	180	73	24	0	1,135	荒川夏湯水
平成8年	1	22	55	62	80	47	204	32	314	74	57	17	965	利根川・荒川冬夏湯水
平成9年	21	13	57	70	187	168	148	72	204	7	87	21	1,055	利根川・荒川冬湯水
平成13年	98	17	98	30	179	120	69	279	444	247	67	9	1,657	利根川夏湯水
平成24年	36	54	93	86	257	217	102	65	245	93	54	33	1,335	利根川夏湯水
平成25年	35	18	37	152	36	172	94	77	238	327	17	46	1,249	利根川夏湯水
平成26年	8	179	51	51	73	512	125	182	125	286	62	28	1,682	
平均値(S40~H26)	34	42	68	97	118	165	182	210	232	149	60	32	1,389	
平成27年	41	23	48	79									192	
平均値に対する割合(%)	120	56	71	82									14	

※ 黄色 荒川取水制限実施月（一時緩和含む）

※ 秋ヶ瀬上流域面積 2,021 km²

(2) 荒川上流4ダムの貯水状況等 (平成27年4月17日0時現在)

平成26年の荒川上流4ダムは、夏期制限水位に移行した期間は概ね満水で推移しました。

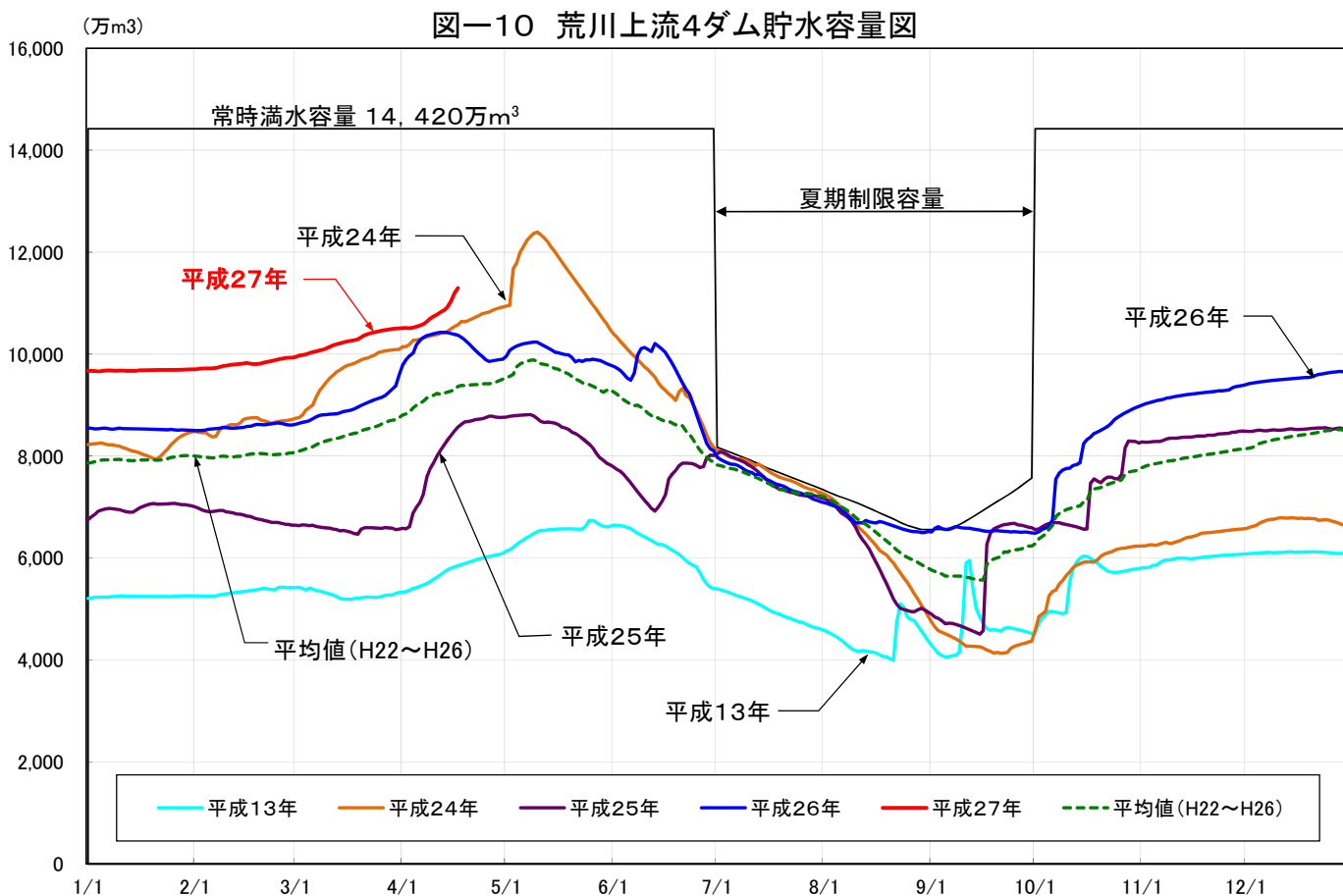
10月は台風18, 19号等の降雨によりダムの貯水量が回復しました。

平成27年4月17日0時の貯水量は1億1,295万m³、貯水率78% (貯水量の平均値 (平成22年~平成26年) に対する割合は121%) です。(表-7、図-10)

表-7 荒川上流4ダム貯水量
平成27年4月17日0時現在

ダム名	有効容量 (万m ³)	貯水量 (万m ³)	貯水率 (%)	前日補給量 (万m ³ /日)
二瀬ダム	2,000	1,162	58	-47
滝沢ダム	5,800	4,925	85	-43
浦山ダム	5,600	4,181	75	-11
荒川貯水池	1,020	1,027	100	0
4ダム合計	14,420	11,295	78	-101
4ダム合計の平均値 (平成22年~平成26年)		9,366	(平均値に対する割合 121%)	

1. 有効容量は、常時満水容量。
2. 貯水率は、常時満水容量に対する貯水量の割合。
3. 前日補給量とは、前日の貯水量と本日の貯水量の差。(値が負の場合は、放流量より流入量が多く、ダムに水を貯留している状況です。値が正の場合は、流入量より放流量が多く、ダムに貯留した水を流している状況です。)



4) 多摩川水系

(1) 小河内ダム地点上流域平均降水量の状況 (平成27年4月16日までの降水量)

小河内ダム地点上流域平均降水量の平成27年4月の降水量は、16日までの累加で87mm となっています。(4月の降水量の平均値は111mm) (図-11、表-8)

図-11 多摩川小河内ダム地点上流域平均降水量

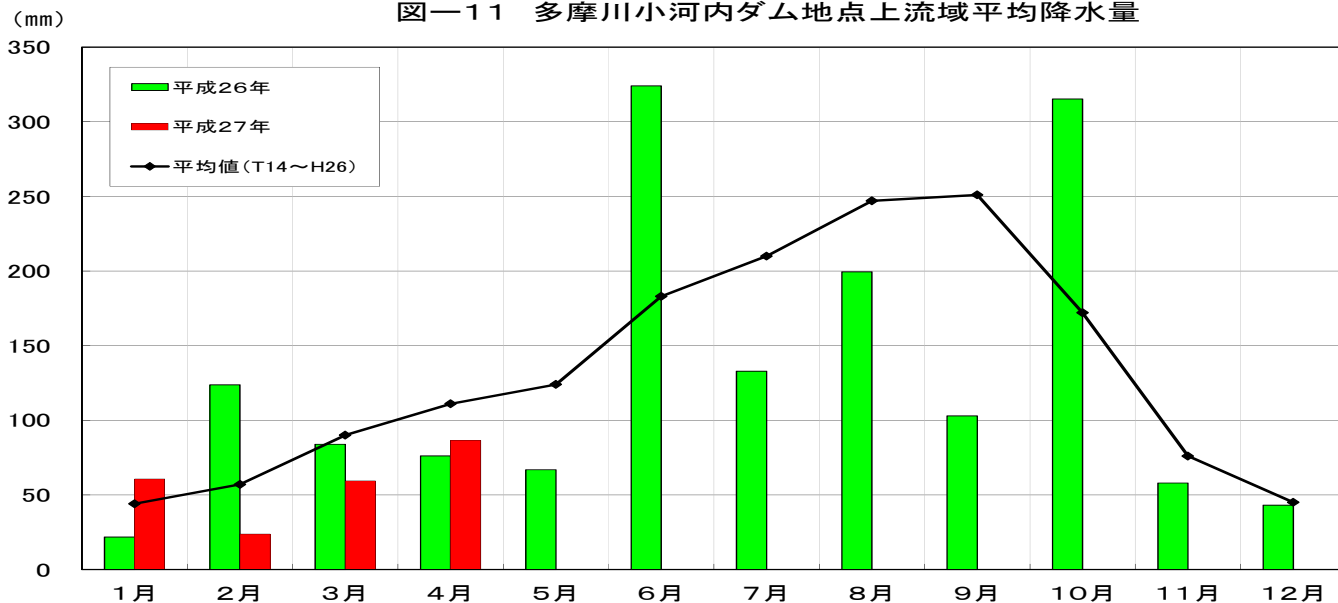


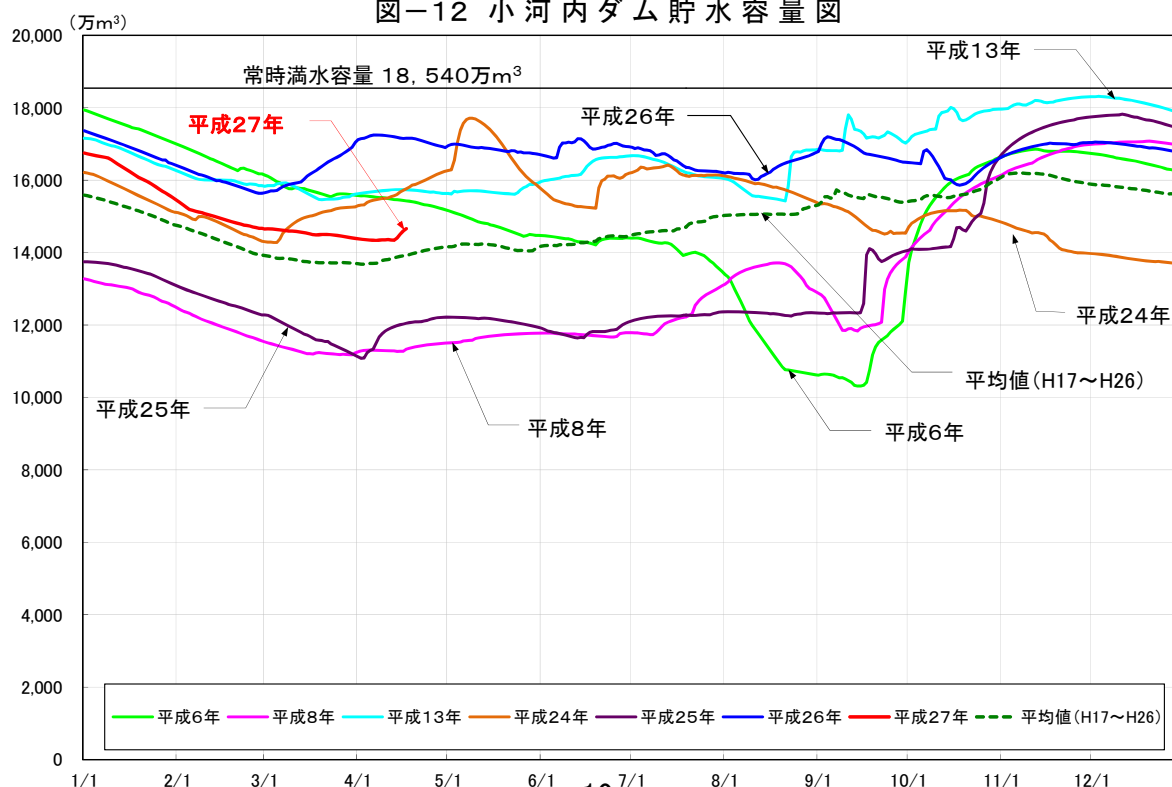
表-8 多摩川小河内ダム地点上流域平均降水量 (平成27年4月16日まで)

単位: (mm)	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	摘要
平成25年	34	37	55	153	38	186	97	102	286	299	34	51	1,370	
平成26年	22	124	84	76	67	324	133	200	103	315	58	43	1,548	
平均値 T14-H26	44	57	90	111	124	183	210	247	251	172	76	45	1,610	
平成27年	61	24	59	87									231	
平均値に対する割合 (%)	138	42	66	78									14	

(2) 小河内ダムの貯水状況

4月17日7時現在の貯水量は、1億4,661万m³となっています。(図-12)

図-12 小河内ダム貯水容量図



2. 今後の見通し

(1) 見通し

平成27年4月16日気象庁発表の関東甲信地方の1か月予報(4月18日から5月17日までの天候見通し)によると、平年と同様に晴れの日が多く、向こう1ヶ月の降水量は「平年並」または「多い」確率ともに40%となっています。また、3月25日気象庁発表の3か月予報(4月から6月までの天候見通し)によると、4月の天気は数日の周期で変わり、平年と同様に晴れの日が多く、降水量は「平年並」の確率40%となっています。5月の天気は数日の周期で変わり、降水量は「平年並」の確率40%となっており、6月は平年に比べ曇りや雨の日が少なく、降水量は「少ない」または「平年並」の確率ともに40%となっています。

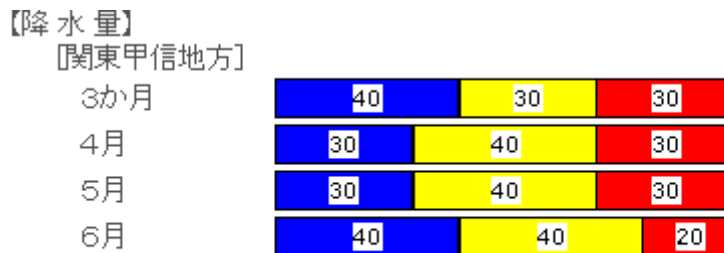
なお、2月25日気象庁発表の暖候期予報(6月から8月までの天候の見通し)によると、6月から8月は平年と同様に曇りや雨の日が多く、その後は平年と同様に晴れの日が多く、降水量は「平年並」の確率40%となっています。

1か月予報(平成27年4月16日発表)



凡例: ■ 低い(少ない) ■ 平年並 ■ 高い(多い)

3か月予報(平成27年3月25日発表)



凡例: ■ 低い(少ない) ■ 平年並 ■ 高い(多い)

暖候期予報(平成27年2月25日発表)

〈夏(6月~8月)の気温、降水量の各階級の確率(%)〉



凡例: ■ 低い(少ない) ■ 平年並 ■ 高い(多い)

